

猫の飼育に必要な予防について

① 怖い感染症から守る「伝染病混合ワクチン」

ネコちゃん同士でうつる「猫風邪」や、命に関わるウイルスを防ぐための注射です。お外に出る子も、お家の中だけで過ごす子も、その子に合った「3種」または「5種」を相談して選びましょう。

- **スケジュール**：子猫ちゃんは生後40～60日からスタートし、1ヶ月間隔で合計2回接種します。その後はバリアを維持するために、年に1回の追加接種をおすすめしています。
- **接種後の過ごし方**：まれに「お顔が腫れる」「元気がなくなる」などの副作用が出ることがあります。注射をした日はお家でゆっくり休ませてあげてください。もし様子がおかしいと感じたら、すぐにご連絡くださいね。

② 実はネコちゃんも危ない「フィラリア予防」

ワンちゃんの病気と思われがちですが、実はネコちゃんも蚊に刺されることで感染します。ネコちゃんは体が小さいため、数匹の虫が心臓にいただけで突然体調が悪くなることも、急性の呼吸困難などを引き起こすことがあるため注意しましょう。

- **期間**：福井では、5月上旬から12月上旬まで、お薬をつけます。
- **ポイント**：ワンちゃんと同じ、健康であれば事前の血液検査なしでお薬をお出しできます。網戸をすり抜けてくる蚊から、優しく守ってあげましょう。

③ 家の中も油断大敵「ノミ・ダニ予防」

「お家から出ないから大丈夫」と思われがちですが、人間が外からお洋服につけて持ち帰ってしまうこともあります。

- **家族の安全のために**：最近ニュースにもなっている「SFTS（重症熱性血小板減少症）」は、ダニを介して人にもうつる怖い病気です。
- **対策**：確実に安全性の高いお薬がありますので、お散歩バッグや靴にダニをつけて帰ってしまう前に、しっかり対策を始めましょう。

④ 穏やかな毎日のために「避妊・去勢手術」

ネコちゃんはとても繁殖力が強く、気づいた時には赤ちゃんが……ということも珍しくありません。

- **メリット**：手術を受けることで、発情期の大きな鳴き声やスプレー（おしっこでの匂い付け）を抑え、性格も穏やかになることが多いです。また、将来かかりやすい病気の予防にも繋がります。
- **時期**：当院では生後6ヶ月から予約制でお受けしています。初めての手術は不安も多いかと思うので、成長に合わせてゆっくり相談していきましょう。